

ご活躍の足跡（2013年1月～12月）

雑誌名	関西大学経済論集
巻	63
号	3-4
ページ	465-474
発行年	2014-03-10
URL	http://hdl.handle.net/10112/14210

教授

ご活躍の足跡
(2013年1月～12月)

宇都宮浄人

論文

- (1)「地方圏の乗合バス需要に関する実証分析」『交通学研究』, 通巻56号, pp.91～98, 3月刊。
- (2)「1940年代の金融仲介構造—1941～48年度末の資金循環統計の推計—」『金融経済研究』, 通巻第35号, pp.52～73, 4月刊。
- (3)「地域公共交通の役割—ソーシャル・キャピタルを育むもの—」『JREA』, 第56巻第7号, pp.4～7, 7月刊。

Working Paper (Discussion Paper)

- (1)“Japan’s Financial Intermediation Structure in the 1940s: Estimation of the Flow of Funds Accounts from 1941 to 1948” 関西大学経済学会 Working Paper Series, F-61, May.
- (2)“Demand for the local bus services in Japan: Price elasticity and public Transportation policy” 関西大学経済学会 Working Paper Series, F-62, May.

学会・研究会

- (1)“Local Bus Services in Japan: Price Elasticity and Public Transport Policy” Institute of Transportation, Vienna University of Technology, Austria, 28 May.
- (2)“Local Bus Services in Japan: Price Elasticity and Public Transport Policy” Seminar, University of Leeds, UK, 31 May.
- (3)“Local Bus Services in Japan: Price Elasticity and Public Transport Policy” The 13th International Conference on Competition and Ownership in Land Passenger Transport, University of Oxford, UK, 17 September.
- (4)「LRT とは何か」交通権学会, 埼玉大学, 7月20日。
- (5)「ドイツの地域公共交通に関する実証分析—需要関数の推計と考察—」日本交通学会, 流通経済大学, 10月6日。
- (6)「地域公共交通の現状と課題」地域活性化インフラ政策研究フォーラム2013, 大阪大学, 12月7日。

講演会

- (1)「LRTとまちづくり」静岡市公共交通シンポジウム, テルサホール, 1月19日。
- (2)「鉄道復権」上越・北陸新幹線直行特急実現期成同盟会, 新潟ハミングプラザ, 1月28日。
- (3)「公共交通復権」内外情勢調査会・旭川支部講演会, 旭川グランドホテル, 3月12日。
- (4)「マクロ経済政策は日本を救えるか」公共事業改革市民会議, 参議院議員会館, 3月15日。
- (5)「駅とまちづくり」堺市, 堺市役所, 4月22日。
- (6)「路面電車によるまちづくり」日本景観フォーラム景観セミナー, JICA 研究所, 4月26日。
- (7)「まちづくりとLRT」RACDA 高岡地域公共交通フォーラム, ウィングウィング高岡, 5月11日。
- (8)「公共交通復権」内外情勢調査会・豊橋支部講演会, ホテルアークリッシュ, 6月24日。
- (9)「公共交通復権」内外情勢調査会・刈谷支部講演会, 刈谷プラザホテル, 6月24日。
- (10)「交通まちづくりを考える」あしたの学校, 茨城県青少年会館, 8月5日。
- (11)「地域再生と鉄道」JR 総連議員団会議, 参議院議員会館, 8月27日。
- (12)「鉄道復権」内外情勢調査会・岡山支部講演会, ホテルグランヴィア, 9月5日。
- (13)「経済統計と景気・物価」国土交通省総合政策局, 国土交通省, 11月1日。
- (14)「交通まちづくり」倉敷市, 倉敷市環境学習センター, 12月14日。

資料・その他

- (1)「イギリスの新しい2つの試み」『路面電車EX』第2号, pp.81～85, 11月刊。

受賞・表彰

- (1)『鉄道復権』(新潮社, 2012 年刊) 第 38 回交通図書賞 (経済・経営) 受賞, 交通協力会, 3 月 29 日。

大塚 忠
論文

- (1)「ドイツから見た日本職業訓練制度史論—TWI監督者訓練法の与えた影響—」『関西大学経済論集』, 第 62 巻第 4 号, 21-55 ページ, 3 月刊。
- (2)「TWI 監督者訓練プログラム導入の歴史的意義」『関西大学経済論集』, 第 63 巻第 2 号, 1-33 ページ, 9 月刊。

春日 秀文
論文

- (1) “Why do firms pay bribes? firm-level evidence from the Cambodian garment industry”
Journal of International Development Vol. 25, Issue2, 2013, pp.276-292, March.

学会・研究会

- (1) “Does aid affect inequality?” タマサート大学経済学部研究会, タマサート大学ランシットキャンパス, タイ, 3 月 11 日。
- (2) “Inequality, education and regional disparities in Thailand” タマサート大学経済学部研究会, タマサート大学タープラチャンキャンパス, タイ, 8 月 19 日。

北川 勝彦
著書

- (1)『アフリカ世界の歴史と文化—ヨーロッパ世界との関わり—』(共著) 放送大学教育振興会, 3 月刊。

論文

- (1) “Retrospective and Prospects for Japanese Policy on Africa: Focusing on the Tokyo International Conference on Africa”, *Kansai University Review of Economics*, No. 15, March.

資料・その他

- (1)「日本アフリカ学会の創立に関わった諸団体と人々」(共著) 日本アフリカ学会創立 50 周年記念事業実行委員会編『日本アフリカ学会の創立に関わった諸団体と人々 日本アフリカ学会創立 50 周年記念公開講演会「アフリカ研究の誕生—学会創立前後を回顧する」参考資料』, 5 月 25 日刊。

学会・研究会

- (1)「18 世紀～19 世紀における南アフリカのプラントハンター—Francis Masson, James Bowie, および Robert Plant について—」アフリカ史研究会, 関西大学, 2013 年 7 月 27 日。
- (2)「南アフリカにおける工業化に関する一考察—経済史研究の回顧—」社会経済史学会近畿部会 9 月例会, 神戸大学, 9 月 21 日。
- (3) “Comment from the Perspective of African Studies in Japan and International Setting” International Symposium on Conservation and Utilization of Biological Resources for Economic Development with Reference to Indigenous Knowledge, Durbar Hall, Kathmandu, Nepal, 19 August.
- (4) “*African Breaks the Chain* and the Birth of Japanese Africanists.” Symposium on Africa and Asia Entanglements in Past and Present, STIAS, University of Stellenbosch, South Africa, 4-5 November.

北波 道子

分担執筆

- (1)「台湾における行政院直轄市の変遷について」大阪大都市圏地域経済研究班『都市の経済活動の構造』第七章, 関西大学経済・政治研究所, 3月。

論文

- (1)「台湾の農地改革と接収資産—公有耕地と公営事業」『現代台湾研究』第43号, 1~20頁, 3月。

学会・研究会

- (1) *The End of the East Asian Miracle*, Edwin O. Reischauer Center for East Asian Studies Visiting Scholars' Luncheon Seminar Series, Johns Hopkins School of Advanced International Studies, 4.11.

北原 聡

分担執筆

- (1)「近代大阪の都市内水運」, 関西大学経済・政治研究所大阪大都市圏地域経済研究班編『都市の経済活動の構造』第三章, 関西大学経済・政治研究所, 61-79ページ, 3月刊。

古賀 款久

論文

- (1)「R&Dと生産性:資源の再配分効果」『関西大学経済論集』第63巻第2号, 83-134ページ, 9月刊。

佐々木信彰

論文

- (1)「中国自動車産業の課題—民族産業としての確立可能性」 関西大学経済・政治研究所研究双書第157冊, 東アジア経済・産業研究班『東アジア経済・産業における新秩序の模索』, pp.1~22, 3月刊。
- (2)「東アジアにおける安全・安心・安定—日中協力のあり方—」 関西大学経済政治研究所『資料と調査』, 第110号, 『東アジア経済・産業の新潮流』, pp.207~215, 3月刊。
- (3)「日中国交正常化40年の日中経済関係」 関西大学経済政治研究所『資料と調査』, 第110号, 『東アジア経済・産業の新潮流』, pp.319~330, 3月刊。
- (4)「現代中国の南北問題に関する一考察」 北川秀樹・石塚迅・三村光弘・廣江倫子編『現代中国法の発展と変容 西村幸次郎先生古希記念論文集』, 成文堂, 135頁~155頁, 7月刊。
- (5)「(中国) 民族問題」(中国研究所編『中国年鑑 2013』, 毎日新聞社, pp.93~96, 5月刊。
- (6)「(中国) 少数民族」(中国研究所編『中国年鑑 2013』, 毎日新聞社, pp.294~299, 5月刊。

書評

- (1) 大西広編著『中国の少数民族問題と経済格差』(京都大学学術出版会, 2012年9月刊), 中国经济学会『中国经济研究』, 第10巻第2号, 96~100頁, 9月30日刊。

講演会

- (1)「習李政権 中国経済の課題」 関西大学経済・政治研究所第200回記念産業セミナー『脅威とチャンスのはざま—日中ビジネスの展望』, 千里山キャンパス尚文館マルチメディア AV 大教室, 5月15日。

学会・研究会

- (1) 張浩川・復旦大学日本研究センター副所長報告「安倍政権の中国からの評価」, 傅鈞文・上海社会科学院国際貿易研究室主任報告「習近平体制下の日中経済」以上2報告に対するコメント, 第4回 関西大学・復旦大学経済フォーラム, 関西大学, 5月24日。
- (2) 自由論題2『中国・韓国の政治・行政・外交』の司会, アジア政経学会西日本大会, 大阪市立

大学, 11月9日。

- (3) 日野みどり報告「中国上海におけるグリーンケア自助団体の一事例：NGOの組織と機能をめぐる初歩的考察」に対するコメント, アジア政経学会西日本大会, 大阪市立大学, 11月9日。

佐藤 真人

論文

- (1) 「戦後日本の営業利益と営業外収支」, 『関西大学経済論集』第62巻4号, 2013年3月。

学会・研究会

- (1) 「戦後日本の景気循環局面における資本蓄積と資本利益率」経済理論学会第61回大会, 専修大学, 10月5日。

佐藤 雅代

分担執筆

- (1) 「社会保障の役割と課題」一圓光彌編著『社会保障論概説 第3版』第2章, 誠信書房, 18-35ページ, 2月刊。

資料・その他

- (1) 「行財政改革先進事例等調査」『行財政改革先進事例等調査 報告書』, 1-225ページ, 10月刊。

学会・研究会

- (1) 「救急の現状と 制度としての持続可能性」関西大学経済学会夏季研究大会, 関西大学, 7月3日。

講演会

- (1) 「保健医療福祉の経済」健康福祉プランナー養成塾, 自治医科大学, 7月16日。
 (2) 「救急業務の概況と消消費」関西大学経済・政治研究所 第201回産業セミナー, 関西大学, 6月29日。

清水 崇

論文

- (1) “Dynamic Auction Markets with Fiat Money” (co-authored) *Journal of Money, Credit and Banking*, forthcoming.

Working Paper (Discussion Paper)

- (1) “Asking One Too Many? Why Leaders Need to Be Decisive” (co-authored) 大阪大学社会経済研究所 ISER Discussion Papers, No.857. 10月刊。
 (2) “Cheap Talk with an Exit Option: The Case of Discrete Action Space” 関西大学経済学会 Working Paper Series, F-59, 10月刊。

新熊 隆嘉

論文

- (1) Daisuke Ichinose, Keisaku Higashida, Takayoshi Shinkuma, Michikazu Kojima, “Should the Trade of Hazardous Waste be Uniformly Regulated?” An Empirical Analysis of Export Demand for Waste and Scrap, *Environment and Development Economics*, forthcoming.
 (2) Hajime Sugeta, Takayoshi Shinkuma, “Optimal Trade and Recycling Policies in Vertically Related Markets” In: Thomas C. Kinnamann and Kenji Takeuchi (eds) *Handbook on Waste Management*, Edward Elgar, forthcoming.

分担執筆

- (1) 新熊隆嘉, 日引聡「災害保険の経済分析」馬奈木俊介(編著)『災害の経済学』, 第6章, 中央経済社, 93-112ページ。

鈴木 智也

学会・研究会

- (1) "Three options under the risk of wage fluctuations: to work, to be on welfare, and to commit suicide", 39th Eastern Economic Association Annual Meetings, New York, USA, May 8-11
- (2) "Transmission mechanism of a terrorist shock in a small open economy", 47th Annual Conference of the Canadian Economic Association, Montreal, Canada, May 30-Jun 2.
- (3) "Transmission mechanism of shocks caused by terrorism to a small open economy", 5th Bolivian Conference on Development Economics, Santa Cruz de la Sierra, Bolivia, Nov. 14-15.

竹下 公規

論文

- (1) 「社会主義体制の崩壊と現代の社会経済システム—「失われた20年」と日本の現在—」『関西大学経済論集』, 第63巻第2号, 183-198ページ, 9月刊。

資料・その他

- (1) 「ダグラス・ノース: 制度分析で経済史と理論を結びつけた (温経知世 Vol.80)」『エコノミスト』第91巻第21号, 54-55ページ, 5月14日刊。

谷田 則幸

論文

- (1) "An Agent-Based Approach for Patient Satisfaction and Collateral Health Effects", Murakami, M. and Tanida, N., in *Advances in Computational Social Science: The Fourth World Congress on Social Simulation*, Springer, to appear.

Working Paper (Discussion Paper)

- (1) "A Validation of Social Exclusion and its Effect on Future Generations using Agent Based Simulation Model", Murakami, M., Daito, M., Tanida, N., Working Paper Series F-63, Economic Society of Kansai University, June.

学会・研究会

- (1) "An Agent-based Model for Optimized Combination of Access-friendly Public Transportations for Elderly Citizens", in *Proceedings of 18th Annual Workshop on Economic Heterogeneous Interacting Agents*, Reykjavik (Iceland), 20-23 June.
- (2) "A Validation of Social Exclusion and its Effect on Future Generations using Agent Based Simulation Model", Murakami, M., Daito, M., Tanida, N., in *Proceedings of 18th Annual Workshop on Economic Heterogeneous Interacting Agents*, Reykjavik (Iceland), 20-23 June.
- (3) "An Agent Based Simulation for Social Exclusion and Its Effect on Future Generations", Murakami, M. and Tanida, N., in *Proceedings of 19th International Conference on Computing in Economics and Finance*, Vancouver (Canada), 10-12 July.

土居 潤子

Working Paper (Discussion Paper)

- (1) "Firm Heterogeneity, Rent seeking and Unemployment", co-author: Yoshimasa Aoki, Working Paper Series, F-58, Economic Society of Kansai University, 5月。

学会・研究会

- (1) "Civil Conflict and Economic Growth", co-author: Yoshimasa Aoki, Workshop on Macroeconomic Dynamics and International Trade, コロンビア大学, USA, 9月4日。

中澤 信彦

学会・研究会

- (1)「ハイエク・バーク・保守主義——ハイエクはバークをどのように読んだのか?——」日本イギリス哲学会第37回全国大会, 東北大学, 3月26日。
- (2)「ハードウィック結婚法とエドモンド・バーク——マルサス主義的結婚システムとの関連で——」マルサス学会第23回年次大会, 北海学園大学, 6月29日。
- (3)“Malthus’s Criticism of Paine’s *Rights of Man*”, 26th Conference of the History of Economic Thought Society of Australia (HETSA), The University of Western Australia, Perth, 7月4日。
- (4)「反革命思想と経済学——マルサス『食糧高価論』に関する一考察——」第43回経済思想研究会, 東北大学, 8月8日。
- (5)「自由市場の道徳性をめぐる一考察——エドモンド・バークの場合——」科研「野蛮と啓蒙——経済思想史からの接近」研究会, キャンパスプラザ京都, 9月28日。
- (6)「自由市場の道徳性をめぐる一考察——エドモンド・バークの場合——」社会思想史学会第38回大会, 関西学院大学, 10月26日。
- (7)「反革命思想と経済学——マルサス『食糧高価論』に関する一考察——」経済学史学会第165回関西部会, 名古屋大学, 12月21日。
- (8)「反革命思想と経済学——マルサス『食糧高価論』に関する一考察——」科研「野蛮と啓蒙——経済思想史からの接近」研究会, キャンパスプラザ京都, 12月24日。
- (9)「ケインズの便宜主義——ケインズはバークをどのように読んだのか?——」経済学方法論フォーラム, 松山大学, 12月26日。

野坂 博南

Working Paper (Discussion Paper)

- (1)「探索方法の違いから見たサーチ理論の研究動向について」Working Paper Series, J-37, 関西大学経済学会, 11月刊。

橋本 恭之

論文

- (1)「逆進性対策の再検討」『税研』, Vol.28, No.5, pp.51-58, 1月刊。
- (2)「地方消費税の改革—清算基準について—」『会計検査研究』第47号, pp.55-73, 3月刊。
- (3)「近年の日本の財政運営と財政健全化の可能性」(木村真との共著)『関西大学経済論集』第63巻第2号, pp.1-26, 9月刊。

資料・その他

- (1)橋本恭之・木村真『財政規律を考える(下)—3%成長でも健全化困難』日本経済新聞, 経済教室, 2013年3月13日。
- (2)「消費税の逆進性緩和策について」『租税研究』768号, 10月刊。

講演会

- (1)「消費税の逆進性緩和策について」日本租税研究協会地方税研究会, 北浜フォーラム, 7月16日。

橋本 紀子

著書

- (1)『Excelで読み取る経済データ分析』新世社, 9月刊。

論文

- (1)「『家計調査』の費目間構造に関する一考察—文化需要費目に着目したケース—」(荒木孝治と共著)『関西大学経済論集』第63巻第1号, 17-35ページ, 6月刊。

学会・研究会

- (1)「[「全国消費実態調査」マイクロデータから見る単身世帯の家計収支構造の変化—費日間構造における文化需要費目の位置—」日本行動計量学会第41回大会, 東邦大学習志野キャンパス, 9月5日。
- (2)「[「マイクロデータから見る「全国消費実態調査」二人以上世帯の家計収支構造—費日間構造における文化需要費目の位置づけに着目して—」2013年度統計関連学会連合大会, 大阪大学豊中キャンパス, 9月9日。
- (3)「[品質管理教育教材「パッティング機」の進化と活用事例」日本品質管理学会関西支部第103回研究発表会, 大阪大学中之島センター, 9月13日。
- (4)「[品質管理教育教材「プロペラ走行機」の提案」日本品質管理学会関西支部第103回研究発表会, 大阪大学中之島センター, 9月13日。

浜野 潔**論文**

- (1)「[江戸時代の人口統計史料—マイクロとマクロの視点から—」『統計』, 第64巻第1号, 日本統計協会, 46-52ページ, 1月刊。

学会・研究会

- (1)「[近世京都の商業地区における人口と世帯構成—衣棚町の事例—」日本人口学会第65回大会, 札幌市立大学, 6月2日。
- (2) Power Relations in Household and Family in Late Tokugawa Era Kyoto (with Mary Louise Nagata and Kiyoshi Jinno), 38th Annual Meeting of Social Science History Meeting, The Palmer House, Chicago, November 21-24.
- (3) Discussant, Infanticide and Population Growth in Cross-Disciplinary and Cross-National Perspective: A Discussion of Fabian Drixler, Mabiki: Infanticide and Population Growth in Eastern Japan, 1660-1950 (University of California Press, 2013), 38th Annual Meeting of Social Science History Meeting, The Palmer House, Chicago, November 21-24.

講演会

- (1)「[宗門改帳の分析方法について—カード方式からコンピュータの利用まで—」宗門改帳研究会, (社) 部落解放・人権研究所, 1月18日。

林 宏昭**資料・その他**

- (1)「[平成24年度 個人住民税検討会報告書について」『租税研究』, 第769号, 日本租税研究会, 44-53ページ, 11月刊。

廣江 満郎**分担執筆**

- (1)「[財政活動と財政改革] 八田英二・廣江満郎編著『日本経済の新地平』第6章, 混洋書房, 127-156ページ, 10月刊。

前川 聡子**論文**

- (1)「[研究開発と法人税制—企業規模別データに基づく試験研究費税額控除の分析—」日本財政学会編『「なぜ」財政再建ができないのか』財政研究第9巻, 第5章, 267-283ページ, 10月刊。【査読付き】

学会・研究会

- (1)「公費による財政支援と医療需要 —国民健康保険 保険者別データを用いた実証分析—」2013年応用経済学会春季大会, 立命館大学, 6月16日。
- (2)“Does Cash Flow Really Affect Investment More than q ? : Evidence of the Japanese firms' investment since 1990s”, 第6回 NCU 現代経済学研究会, 北九州市立大学, 9月28日。

本西 泰三**論文**

- (1)「公的年金制度の積立方式移行に関する一考察」『関西大学経済・政治研究所セミナー年報2012』, 関西大学経済・政治研究所, 69-80 ページ, 3月刊。
- (2)“Are the East Asian Currencies still Misaligned? An Analysis Based on Absolute PPP-Income Relationship using Panel Data”『関西大学経済・政治研究所研究双書』, 第157冊, 関西大学経済・政治研究所, 23-53 ページ, 3月刊。

講演会

- (1)「アベノミクスと日中経済について」『アベノミクスと習近平体制下の日中経済—課題と展望—』, 関西大学経済・政治研究所・第4回関西大学・復旦大学経済フォーラム, 関西大学千里山キャンパス, 5月24日。

良永 康平**論文**

- (1)「福井の経済構造」『都市の経済活動の構造』, 関西大学経済・政治研究所『研究双書』, 第156冊, 1-34 ページ, 2013年3月31日。
- (2)「EU27のCO2排出分析 — WIOD 産業連関表を利用して—」『経済論集』, 関西大学, 第63巻第2号, 135-163 ページ, 2013年9月30日。

資料・その他

- (1)『世界40カ国の自給自足構造— WIOD データによるスカイライン分析』(共著)法政大学日本統計研究所『統計研究参考資料』No.114, 1-127 ページ, 2013年9月30日。

准教授

ご活躍の足跡
(2013年1月～12月)石井 光
研究ノート

- (1) "Profit Enhancing Downstream Entry When an Upstream Monopolist Can Adjust Its Production Technology" (co-authored).

稲葉 大
学会・研究会

- (1) "Asset Bubbles and Bailouts" 関西大学経済学会第29回夏期研究大会, 関西大学, 7月3日。

片山 直也
Working Paper (Discussion Paper)

- (1) "Proposal of Robust M Tests and Their Applications", Working Paper Series, F-65, Economic Society of Kansai University, 10月。

神江 沙蘭
著書

- (1) The Politics of Financial Markets and Regulation: The United States, Japan, and Germany, Palgrave Macmillan, 2014年2月刊行。

学会・研究会

- (1) 「EMUの形成と金融安定化政策：分断された政策過程と今後の行方」, 日本EU学会, 立命館大学(朱雀キャンパス), 11月10日。

後藤 健太
分担執筆

- (1) 「縫製産業におけるパフォーマンス格差とその要因」(工藤年博と共著) 久保公二編『ミャンマーとベトナムの移行戦略と経済政策』研究双書606, アジア経済研究所, 101-135頁, 3月刊。

論文

- (1) "Aid for Trade and Value Chains in Textiles and Apparel" Sector Study Report for the Fourth Global Review of Aid for Trade: Connecting to Value Chains, 1-55, Geneva: WTO, OECD and IDE/JETRO (with Takahiro Fukunishi and Tatsufumi Yamagata).
- (2) "Social Networks, Informal Trade Credit, and its Effects on Business Growth: Evidence from the Local Garment Trade in Vietnam" *Journal of the Asia Pacific Economy*, 18(3), 382-395 (published online on December 24, 2012). DOI:10.1080/13547860.2012.742683
- (3) "Upgrading, Relocating, Informalising? Local Strategies in the Era of Globalisation: The Thai Garment Industry" *Journal of Contemporary Asia* (with Tamaki Endo). (Online version, published May 29, 2013). DOI:10.1080/00472336.2013.794365
- (4) "Starting Businesses through Reciprocal Informal Subcontracting: Evidence from the Informal Garment Industry in Ho Chi Minh City" *Journal of International Development*, 25(4), 562-582 (Online version published on May 2, 2011).

資料・その他

- (1) 「第5章 縫製産業におけるアジアの生産・流通ネットワーク：先発ASEAN諸国のアジアの国際生産・流通ネットワークと関西企業」阿部茂行(編著)『関西企業とアジアの経済統合研究会報告書ータイ大洪水から見るアジアのサプライチェーンー』, アジア太平洋研究所, 56-65

頁, 9月刊。

佐藤 方宣

資料・その他

- (1)「政府にしかできないこと(にっぽん診断)」『経済ウィークリー(地方紙向け配信コラム)』共同通信, 1月。
- (2)「教育への公的支援充実を(にっぽん診断)」『経済ウィークリー(地方紙向け配信コラム)』共同通信, 2月。
- (3)「貧困脱出の環境づくりを(にっぽん診断)」4月『経済ウィークリー(地方紙向け配信コラム)』共同通信, 4月。
- (4)「給付型奨学金の拡張を(にっぽん診断)」『経済ウィークリー(地方紙向け配信コラム)』共同通信, 5月。
- (5)「試される日本社会の寛容性(にっぽん診断)」『経済ウィークリー(地方紙向け配信コラム)』共同通信, 7月。
- (6)「大学で働きながら学ぶ(にっぽん診断)」『経済ウィークリー(地方紙向け配信コラム)』共同通信, 7月。
- (7)「雇用の安定・安心に留意を(にっぽん診断)」10月『経済ウィークリー(地方紙向け配信コラム)』共同通信, 9月。
- (8)「日本社会に潜む不寛容さ(にっぽん診断)」『経済ウィークリー(地方紙向け配信コラム)』共同通信, 10月。
- (9)「食の法規制強化は必要か(にっぽん診断)」『経済ウィークリー(地方紙向け配信コラム)』共同通信, 11月。
- (10)「企業の社会的責任の再考を(にっぽん診断)」『経済ウィークリー(地方紙向け配信コラム)』共同通信, 12月。

学会・研究会

- (1)「ハイエクとナイト——「リベラル」批判と実質的自由」経済学史学会・東北部会, 山形大学・大学コンソーシアムやまがた・ゆうキャンパス・ステーション, 4月20日。
- (2)“Hayek and Knight on the Economic Conditions of Liberal Society: Why two critics of “Liberals” had come to different conclusions?” The 2013 History of Economics Society’s Annual Conference, the University of British Columbia, Vancouver, British Columbia, 22. June.

杉本 佳亮

学会・研究会

- (1)“Economic Growth with Locked-in Childbirth: Under-and Over-investment in Education (with Masao Nakagawa)” 関西大学経済学会第29回夏期研究大会, 関西大学, 7月3日。

Working Paper (Discussion Paper)

- (1)“Notes on Economic Growth with Scale Effects: Is Depopulation Compatible with Growth? (with Masao Nakagawa and Asuka Oura)”.